※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	標準　古典探究（第一学習社）						
副教材等	「『読む』につなげるアシスト古典文法助動詞編」啓隆社 「新精選古典文法三訂版」東京書籍 「シンプルスタイルシリーズ古文単語 301」尚文出版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１・２年次の基礎基本をもとにさまざまな作品に触れ、その内容や登場人物の心情、古典常識や歴史的背景を学びます。
・古文、漢文ともに文章も長文になり、文法に関する理解や語彙力も必要になってきますので、根気強く取り組みましょう。
・毎回の授業を真剣に受講しましょう。自主学習に活用できるように、ノートを丁寧に作成しましょう。授業を真剣に「聞く」こと、課題や演習に「取り組む」ことで様々な力が伸びます。授業を共に作り上げている人への敬意を忘れず、毎回の授業を大切にしましょう。
・副教材（問題集など）を活用して、授業での学びをより深く理解し、自分に定着させましょう。
・小テストの実施については、予告をします。定期テストと同様に、計画を立てて臨みましょう。
・提出物には期限があります。計画的に取り組み、期限を守って提出する習慣をつけましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やしている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典を通して我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。	「読むこと」において、古典作品や文章に表れているものの見方や感じ方を捉え、内容を解釈している。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。	古典を読むことなどを通して我が国の文化や先人の考え方について考えを深め、それによって自分の考えを広げ、行動や生き方の参考として生かそうとしている。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係についても理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	随筆を読み味わう。 ［教材］ 『方丈記』より「ゆく川の流れ」	a:重要古語や助動詞などの意味と用法を十分に理解し、本文の読解に生かしている。 b[読]:和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 c:作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	物語を読み味わう ［教材］ 『源氏物語』より 「若紫」	a:語句の意味や用法、敬語表現に注意し、登場人物の会話や行動を的確に読み取り、説明している。 b[読]: 歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

※令和４年度以降入学生用

		c:・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。			
2学期	日記文学を読む ［教材］ 『更級日記』より 「門出」	a: 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 b「読」: 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	軍記物語を読む ［教材］ 『平家物語』より 「能登殿の最期」	a: 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 b[読]: 軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ・軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c: 軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混淆文の特色について理解を深めようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

※令和４年度以降入学生用

３学期	漢文で物語を読み味わう 「赤壁之戦」	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 b[読]：魏との戦いを決断するまでの呉の武将たちの葛藤を読み取るとともに、戦いの迫力ある描写を味わう。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。 c:時代背景をふまえて登場人物の言動を粘り強く読み取り、そこに表れたものの考え方をまとめようとしている。 ・粘り強く史伝を読み、戦いの状況を説明しようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間